

市場調査のISOがJIS規格に！

－ 期待される公的調査・アクセスパネル市場への適用拡大

2019年 5月28日

ISO/TC225国内委員会
－ノ瀬 裕幸

あなたの中に未来がある。
一般社団法人 日本マーケティングリサーチ協会

はじめに ①

2019年秋、市場調査分野の日本国家規格、

JIS Y 20252 が発行されます！

サービス業を
表す記号 "Y"

2019年10月予定

ISO 20252: 2019

市場・世論・社会調査及びインサイト・データ分析
— 用語及びサービス要求事項

はじめに ②

JIS って、何？



旧マーク
(~2008年)



現行マーク
(2005~年)

= 日本工業規格 (Japanese Industrial Standards)

JIS法改正により、今年7/1~ **日本産業規格**に

ISO って、何？



or



= 国際標準化機構 / 国際規格

(International Organization for Standardization)

世界各国の標準化団体で構成されるNGO組織 / 国際規格

はじめに ③

Q: ISO 20252 が JIS Y 20252 になるってどういうこと？

A1: 世界の市場調査業界が作ってきた品質管理基準が、正式に日本の国家規格としても認められる（=信用）

**法改正に伴い、サービス業分野にも範囲を拡張
⇒ ISOをJIS化したサービス業としては「第1号」！**

A2: JIS化することで、主に3つのメリットが期待される

- ① 国内の調査サービス利用者への認知・理解度向上
- ② 業界内外への周知徹底のしやすさが向上
- ③ 公的統計分野における「プロセス保証」への貢献
⇒ 特に、地方自治体領域の民間開放市場への対応

1. ISO 20252とは？（+関連ファミリー規格）

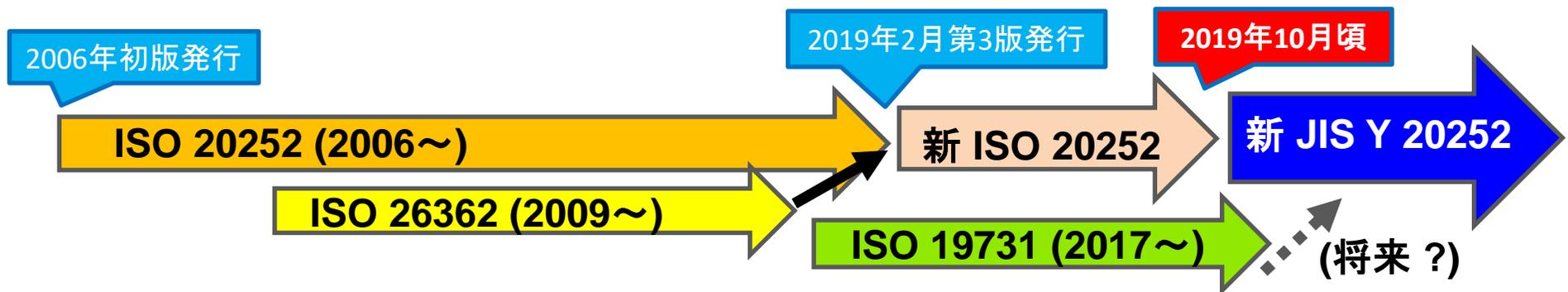
◆ 市場調査業界に特化したプロセス管理・保証の仕組み

- 市場・世論・社会調査のサービスプロセス管理に特化した、国際的な品質管理基準

⇒ わが国公的統計の「プロセス保証」も ISO 20252に準拠

◆ 国際機関 ISO/TC 225が所管し、3規格を開発・発行

- **ISO 20252: 2019** Market, opinion and social research **（改定第3版発行）**
- **ISO 26362: 2009** Access Panels **（ISO 20252に統合 ⇒ 廃止）**
- **ISO 19731: 2017** Digital analytics and Web analyses **（2017年6月発行）**



2. JMRAの品質管理基準も JIS Y 20252に

◆ 本日（5/28）午前のJMRA総会で確認

- JIS Y 20252 発行後、従来のJMRQS（日本版市場調査品質管理基準：2001年）から切り替えて公式基準に
- **正会員社に遵守を義務付け**（第三者認証を強制するものではない）
⇔ 日本の国家規格をJMRA会員が遵守するのは当然

◆ 従来のISO 20252認証取得社も、順次“JIS認証”に切り替え

- 国際協約により、「同等」と扱われる

◆ 現状での難点：ISO規格は容易に「引用」ができない

- 著作権規制が厳しい ⇔ JIS化後は引用可能に

3. ISO 20252 英和対訳版 発行済み

◆ 5/15、（一財）日本規格協会の「Webdesk」で頒布開始

- <https://webdesk.jisa.or.jp/books/W11M0070/index>
- 価格は **41,515円**（税込み）
（ISOへの著作権料を含む）

◆ JIS版はより安価に提供される予定です（ご理解よろしく申し上げます）

- ISO（国際標準化機構）は非営利団体で、その運営費はこうした出版物からの収入に多くを依拠しています
- 正会員社の皆さんには、1社につき1冊はご購入をお願いいたします



4-①. JIS Y 20252 (ISO 20252) の構成・内容は？

序文

1. 適用範囲
2. 引用規格 (引用規格はない)
3. 用語及び定義 (109項目：ISO 26362/19731からの取込みあり)
4. 市場・世論・社会調査の中核的要求事項 (調査に共通する総論)

附属書 A アクセスパネルを含むサンプリング (= ISO 26362組込)

附属書 B フィールドワーク

附属書 C 物理的観察

附属書 D デジタル的観察 (= ISO 19731引用)

附属書 E 自記入式

附属書 F データ管理と処理

※) 認証取得にあたっては、「箇条4と、少なくとも1つ以上の附属書」からなる「適用範囲の宣言」を行う

4-②. 旧版から第3版（JIS Y 20252）への変更点

1. アクセスパネルの運営管理プロセスを追加（新）

- （旧ISO 26362）調査モニター組織を保有する会員社には必須！

2. デジタルデータ分析の管理プロセスを追加（新）

- ISO 19731（デジタル分析/Web解析）の内容を包含

3. 調査会社の得意領域に応じた、詳細な認証範囲の設定（改良）

- 現在の認証区分を踏襲しつつ「適用宣言書」で詳細定義



JIS規格にもそのまま取り込まれる

4-③. 日本での認証スキームと新認証区分

◆ マーケットリサーチ (MR) サービスの認証の特徴 (継承)

- MRのいわゆる「フルサービス」提供機関だけでなく、
- 「データ収集プロセスのみ」の提供機関も認証対象とする

◆ さらに種別・手法別に8つの「認証区分」を設定

- A 定量調査 (調査員訪問型)
- B 定量調査 (調査員介在型)
- C 定量調査 (調査員非介在型)
- D 定性調査
- E **デジタルデータ分析 (New!)**

マーケットリサーチ (MR)
サービス

- P 定量調査
- Q 定性調査
- R **アクセスパネル管理 (New!)**

MRデータ収集サービス

4-④. JIS Y 20252遵守、or 認証取得のメリットは？

- ◆ 「品質重視の調査会社」の証、信用力の向上
- ◆ デジタルデータ分析、アクセスパネル管理にも「お墨付き」
 - 信用度の高い国家規格の登場による品質管理面の信頼性向上
- ◆ GDPR／個人情報保護法対応にも有用
 - ISO/JISの要となる文書記録管理面の整備が信頼性確保に貢献
- ◆ 公的統計／行政機関発注業務への参入に有利
 - 基幹統計をめぐる不祥事により、公的調査の“品質”に高い関心
 - JIS規格化により、地方自治体 or 公的機関が発注する調査業務に活用いただくチャンスが拡大

5. 今後のJIS Y 20252普及に向けたJMRAの取り組み

◆ ISO版『規格解釈のガイドライン』発行

- 英和対訳版を元に、第三者認証取得を考慮した解説本を発行
(JSA様より出版) ⇒ **後日、そのままJIS版に移行**
- 7月中の発行を目標に、MR規格認証協議会で検討中

◆ 今秋、普及促進を目的としたイベントを開催（予）

- 会員社向け内容説明会 or 認証取得相談会
- クライアント向けアピール大会

10~11月を目標に

◆ 各委員会と協力し、普及促進に努める

- 公的統計基盤整備委員会、コンプライアンス委員会… 等

(PR) JMRA・ISO認証支援センターのご案内

◆ 2018年7月発足、JMRAの付属機関として活動中

- Pマーク審査会と同種の協会付属常設組織

◆ ISO 20252 (⇒ JIS Y 20252) の第三者認証取得に関わるJMRA会員社向けコンサルティングサービスを提供

- 1) ISO20252 (⇒ JIS Y 20252) の第三者認証 (新規) 取得支援
 - 2) 既存認証取得社に対する改善支援、更新サポート
 - 3) 認証に関連するGDPR (EUの個人情報保護規制) 対応に関する相談
 - 4) その他、上記に関連する事項
- ISO(JIS)対応と密接にかかわるGDPR対策も担当 (上記3))

詳しくは、↓

<https://www.jmra-iso.biz/>



あなたの中に未来がある。

一般社団法人 **日本マーケティングリサーチ協会**